

ASA-ASJ 5th Joint Meeting 2016 in Honolulu 国際会議 参加報告

試験研究センター

環境部 環境試験室 田中学

1. はじめに

2016年11月28日から同年12月2日の5日間に亘り、米国／ハワイ州／ホノルル市において音響分野の国際会議“ASA-ASJ 5th Joint Meeting 2016 in Honolulu”（以下、日米Joint Meetingと略す）が開催された。筆者はこの国際会議に、Special Session のCochair（共同座長）を務めるため参加した。本稿ではその概要を報告する。

2. 日米Joint Meetingの概要

米国音響学会（ASA; the Acoustical Society of America）と日本音響学会（ASJ; the Acoustical Society of Japan）が、10年毎にハワイで共同開催している音響分野の国際会議が、“日米Joint Meeting”である。米国・日本のほか世界各国からも多くの研究者が参加している。今回の発表総数は2000件を超え、非常に大規模な会議であった。

音響（Acoustics）に関する研究は学際的な分野が多い。今回の会議でも、建築音響・物理音響・音楽音響・騒音・水中音響・音声認識・動物音響など14分野において口頭発表とポスター発表が行われた。プログラムの詳細は日本音響学会のホームページ（www.asj.gr.jp/jointmeeting）から閲覧できるので、興味のある方はご参照頂きたい。

実は、筆者にとっては今回が初めてのハワイ渡航であり、現地で見聞きしたことは色々と珍しく、興味を惹かれた。しかし、ハワイに関しては読者各位のほうが詳しくご存知だと思われるため、本稿では簡潔な紹介とさせて頂く。



写真-1 小雨模様で虹も見られたホノルル市内

初冬の日本からホノルル国際空港に着いた時は随分と暖かく感じたが、タクシーの運転手に尋ねたら「今年は雨が多くて例年に比べると涼しい。」とのこと。滞在中にも良い天気のもと、きれいな虹が見られた（写真-1）。

今回の会場は、大型ホテル“Hilton Hawaiian Village”であった。ご承知の通り、観光の中心地“ワイキキビーチ”の西端を占める大規模リゾートホテルである。高級ホテルを講演会の会場に使うのが米国音響学会の慣例だそう。会場に着くと、年末に向けてクリスマスの装飾がなされていた（写真-2）。常夏の高温の中で日本人には違和感があるが、当地ではこれが普通なのであろう。また、ホテルのフロント（同写真の右奥）が半屋外にあることには驚いたが、これも年中温暖な気候だからこそ、と納得された。



写真-2 会場のヒルトン・ハワイアン・ビレッジ

今回の国際会議では、計170余りのSessionが組まれた。各Sessionは、当ホテルの幾つかのBallroom（宴会場）を使用して開催された。会議の開催事務局からは「気楽な格好で参加を！」とアナウンスされたため、参加者の中にはアロハシャツやTシャツを着用した参加者も見られたが（写真-3）、やはり日本人を中心にスーツを着用した人のほうが多かった。一方で、このホテルはビーチに隣接したリゾートホテルでもある。このため、水着姿の家族連れとスーツ姿の学会参加者がすれ違うという、なんとも珍妙な光景がホテル敷地内のあちらこちらで見られた。

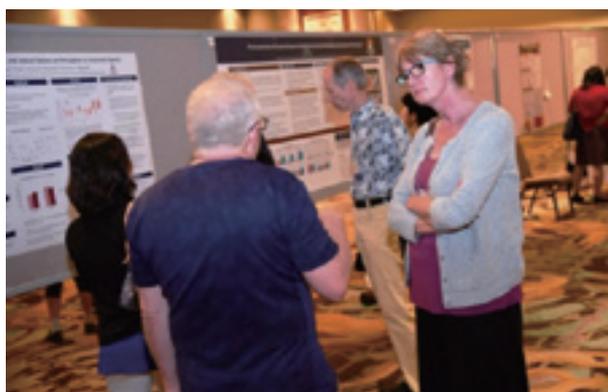


写真-3 ポスターセッションの様子

3. 会議に向けた参加準備

今回の国際会議では、米国側から Floor Impact Sound (床衝撃音) に関する Special Session の開催が提案され、筆者は日本側の Session Organizer 兼 Cochair として参加した。国際会議でこうした役割を務めるのは全く初めての経験であったが、米国側 Organizer の David Lubman 博士および John LoVerde 博士と約半年前から Eメールで連絡をとりあい、Session タイトル・講演募集の説明文・招待講演者の候補・プログラム編成などについて調整した。その結果、最終的には “Innovations in Floor Impact Noise Testing and Evaluation” (床衝撃音試験・評価における革新的話題) という Session を会議5日目午前に開催することとなった。そのほか、建築音響分野の Session は表-1の通りである。

表-1 建築音響分野のセッション一覧

1. Acoustical Design Metric Comparison between the US and Japan
2. Acoustics for Children and Pupils
3. At the Intersection of Speech and Architecture
4. Advanced Analysis, Simulation, and Auralization in Room Acoustics
5. It's All About the Details
6. Assorted Topics in Architectural Acoustics

4. 会議参加の当日

今回は、業務の都合から後半日程のみに参加した。このため、筆者が聴講した発表は少数に限られるが、聴講した範囲で興味を惹かれた内容を簡単にご紹介する。

Cochair を担当した5日目午前の Session では、床衝撃時の上階発生音に対する評価方法の ASTM 案の紹介が中心であった。音楽ホール内での観客の歩行音や、マンションの非常階段歩行音などを対象と考えているようだ。衝撃源には Tapping Machine を使用し、Leq (エネルギー平均値) を測定する内容である。また、靴の種類に応じてゴム靴を使用することも検討されていた。そのほか、重量床衝撃音の発表では標準衝撃源の仕様に関する質問が多く出た。

建築音響分野の発表の中では、船舶コンテナを学校教室やイベント会場に活用した事例の遮音性能に関する発表や、グラーツ工科大学 (オーストリア) による CLT 建物での側路伝搬音の評価事例などに、特に興味を惹かれた。

4日目夕方には公式 Banquet も催された (写真-4)。料理はハワイアン中華…とでも言えば良いのか、円卓を囲んでワインと日本茶が供される中、酢豚ならぬ酢鶏・酢魚などの料理が出された。豚を除くのは宗教的配慮なのだろうか。最後の抹茶アイスは各国の参加者に好評であった。



写真-4 公式Banquet (懇親会)の様子

5. おわりに

今回の渡航は現地2泊2日の慌ただしい行程であったが、米国の研究者と交流できたほか、旧知の韓国などの研究者とも再会し旧交を温めることができた。講演から得た最新情報は今後の業務に活かしていきたい。また、国際会議の準備過程で未だ面識の無い研究者と連絡をとりあい調整を行ったことは、とても貴重な良い経験となった。

今回は現地での滞在時間が少なく、観光としてはホテルからの風景 (写真-5) を楽しむ程度であったため、今回は私的に渡航してハワイをゆっくり満喫したいと思う。

最後に、今回の会議参加に対して多くのご支援を下さった当法人の役員・職員各位に心より謝意を表します。



写真-5 宿泊先ホテルからの風景